

①個別データシート

整理番号:

JP308010

種類

製品

英名

coping

分類

木材・木製品(家具・装
備品を除く)

和名

木製笠木

・GHG排出量

1.38E+00 kg-CO2e/kg

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

笠木の製造

・技術の内容と機能

(MDF)～切断・接着
主要原材料:中質繊維板
主要産出物:笠木
笠木定尺材(定尺4m)1本 9.85kgである。
ラッピングシートは範囲外

・情報源

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機:“製品等に係るLCA 及び静脈系に係るLCA の研究開発成果報告書”, (2005)
標準的製品の生産をモデル化。調査工場の年間の入出力量は実測。

・データ作成者コメント

- ・“製品等に係るLCA 及び静脈系に係るLCA の研究開発成果報告書”より作成。
- ・多様な製品品種に拘わらず定尺1本あたりの入出力量はほぼ同等とみなして、当該工程の年間入出力量を年間生産本数で除して「製品1本あたりの年間平均入出力量」(2003年度実績)を求め、kg当たりの原単位に変換した。
- ・接着剤の種類の記載はないので、ホットメルト系(EVA)と推測した。

・適用範囲

中質繊維板(MDF)を切断接着して製造した笠木である。
笠木とは手摺などに上部からかぶせるように使用する部材である。
製品1kg当たりの原単位で示されている。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、木くずには配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、その他の繊維板(MDF)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開 整理 番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	5.20E-02	kWh	
資源/原材料	中間フロー	入力	接着剤	その他のプラスチック		1.10E-03	kg	EVAと推定。ラッピングシートはカットオフ
資源/原材料	中間フロー	入力	MDF	その他の繊維板		2.86E-03	m3	
製品	中間フロー	出力	木くず	木くず	*	4.28E-01	kg	アロケーションせず。木くず処理方法不明。
製品	中間フロー	出力	笠木	木製笠木	JP308010	1.00E+00	kg	